高砂市インターンシップ実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、高砂市（以下「市」という。）において学生を受け入れて行う職場体験実習（以下「インターンシップ」という。）の実施について必要な事項を定め、学生の就業意識の向上及び市政に対する理解を深めることを目的とする。

(対象者)

第2条 インターンシップの対象となる者は、学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づく大学、大学院、短期大学、高等専門学校、高等学校等（以下「大学等」という。）の学生であって、当該大学等から推薦を受けたもの又は兵庫県経営者協会に登録しているものとする。

(受入期間及び実習時間)

第3条 インターンシップの期間は、1月を超えない範囲内で、市が受入れ可能な期間とする。

2 インターンシップの時間は、原則として午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、インターンシップに係る業務の都合により、インターンシップを行う学生（以下「実習生」という。）に事前に通知した上で、これを変更することができる。

(受入部署)

第4条 インターンシップの受入部署は、実習生の希望を考慮し、実習生の受入れが可能な部署のうちから調整し、決定するものとする。

(推薦・申込手続等)

第5条 大学等は、当該大学等の学生を市のインターンシップへ推薦する場合は、希望するインターンシップの期間の開始日のおおむね1月前までに高砂市インターンシップ推薦（申込）書（様式第1号）を市に提出しなければならない。ただし、一定期間に市が募集するインターンシップに学生が兵庫県経営者協会を通じて申し込む場合は、これを省略することができる。

2 市は、前項の規定に基づく申込みがあったときは、速やかにその内容を審査し、実習生の受入れの可否を決定し、その結果を高砂市インターンシップ受入可否決定通知書（様式第2号）により、当該申込みをした大学等又は学生に通知するものとする。

3 前項の規定により受入れを決定する通知を受けた大学等又は学生は、インターンシップの開始前に、次に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 高砂市インターンシップ実施に関する覚書（様式第3号。大学等からの推薦の場合に限る。）
- (2) 誓約書（様式第4号。第7条第6項の規定により署名をしたものに限る。）
- (3) 災害傷害保険及び賠償責任保険の加入を証明する書類の写し

(実習生の身分及び処遇)

第6条 実習生は、大学等の学生としての身分を有し、市の職員としての身分を有しない。

2 市は、実習生に対して、報酬、賃金、手当、旅費その他一切の金品を支給しない。

(服務)

第7条 実習生は、市の職員と同様に法令（市の条例、規則等を含む。）を遵守しなければならない。

2 実習生は、市の職員の指導及び指示に従い、実習に専念しなければならない。

- 3 実習生は、市の信用を傷つけ、若しくは市の不名誉となるような行為又は職場秩序を乱すような行為をしてはならない。
- 4 実習生は、インターンシップの期間中に知り得た一切の秘密を第三者に漏らしてはならない。その期間終了後も同様とする。
- 5 実習生は、疾病その他やむを得ない理由によりインターンシップを欠席する場合は、実習開始時刻前に受入部署に連絡しなければならない。
- 6 実習生は、前各項の規定を遵守するため、インターンシップの実施期間前に誓約書に署名及び捺印をし、大学等を通じて市に提出しなければならない。

(事故責任等)

第8条 実習生を推薦する大学等(以下「推薦大学等」という。)又は実習生は、災害傷害保険に加入し、インターンシップの実施中又はインターンシップ先との往復途上において実習生に災害が生じたときは、自己の責任において処理することとし、市は一切の責任を負わないものとする。

- 2 推薦大学等又は実習生は、賠償責任保険に加入し、実習生がインターンシップの期間中において故意又は過失により市又は第三者に損害を与えたときは、市又は第三者に対して連帯して責任を負うものとし、その損害を賠償しなければならない。
- 3 実習生がインターンシップの終了後において前条第4項の規定に違反し、市又は第三者に損害を与えたときは、推薦大学等及び実習生は、市又は第三者に対して連帯して責任を負うものとし、その損害を賠償しなければならない。

(インターンシップの中止)

第9条 市は、次の各号のいずれかに該当するときは、インターンシップを中止することができる。この場合において、市は、実習生にその旨を通知するものとする。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
 - (2) 受入部署において業務に支障を来す事態が生じたとき。
 - (3) その他実習を継続することが困難な事由が生じたとき。
- 2 前項の規定により、推薦大学等又は実習生が損害を被ることがあっても、推薦大学等又は実習生は、その損害を市に請求することができない。

(報告)

第10条 実習生は、インターンシップ終了後、速やかに、高砂市インターンシップ体験報告書(様式第5号)を作成し、市長に提出しなければならない。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、インターンシップの実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年7月1日から施行する。